

オリンピック開会まで  
あと 427日  
パラリンピック開会まで  
あと 459日

朝霞市は東京 2020 オリンピック・パラリンピックの射撃会場です

令和元年 5 月 24 日発行  
オリンピック・パラリンピ  
ック室  
電話 048-462-0801 (直通)

# オリパラ通信

東京2020(にーぜろにーぜろと読みます)オリンピック・パラリンピック競技大会まで、いよいよ1年前を迎えようとしています！

オリンピック・パラリンピック室では、平成29年11月に市と39の関係団体で組織する、朝霞市オリンピック・パラリンピック競技大会支援実行委員会を、下部組織として支援部会を設け、大会に向けての機運醸成やハード整備事業などを検討しております。

このオリパラ通信により、より多くの市民の皆さんに大会情報を提供させていただき、市民の皆さんと一体になり、来年のオリンピック・パラリンピックを迎えたいと思います。

それでは、ここから説明をぽぽたんよろしくね！



ここからはぼくが説明するぽ。  
オリンピック・パラリンピックと射撃の開催概要だぽ。

| 正式名称        | 第32回オリンピック競技大会  | 東京 2020 パラリンピック競技大会                 |
|-------------|---|-------------------------------------|
| 大会期間<br>競技数 | 2020年7月24日(金)～8月9日(日)<br>33競技 339種目                                 | 2020年8月25日(木)～9月6日(日)<br>22競技 540種目 |
| 射撃競技期間      | ライフル:7月25日(土)～8月3日(月)<br>クレー :7月26日(日)～8月1日(土)<br>テストイベント:2020年4月予定 | ライフル:8月31日(月)～9月6日(日)               |
| 射撃座席数       | ライフル:3,800席<br>クレー :3,000席  | 3,800席 うち、車椅子席69席                   |

射撃は競技期間が比較的長いから、大会期間中は朝霞市に国内外からたくさんのお客様が来場することが予想されるね！



オリンピックの射撃は、全競技の中で最初にメダルが決まると先日報道されたぽ。  
パラリンピックの競技は、県内では射撃だけなんだぽ。  
大会期間中はいろいろな場面で注目されるかもしれないぽ！

ほんとうにそうだね！ 県内唯一のパラリンピック競技会場が行われる朝霞市では、大会に対する機運醸成とともにユニバーサルデザインのまちづくりを推進しているよ。



今年の5月から、障害福祉課と産業振興課がそれぞれ窓口となって  
バリアフリー関連補助金の交付事業が始まったぽ。  
この取組をきっかけに、市と市民と民間事業者が一緒になって、オール朝霞で  
大会に向けた「おもてなし」の取組を進めていくんだぽ！

ぼくは、「ユニバーサルマナー検定」で、こころのバリアフリーを勉強中だぽ！

ぽぽたん、よく勉強しているね！ 市民の皆さんも大会に向けた取組にご協力をよろしくお願ひします！

～バリアフリー関連補助金等の詳細は次のページをご覧ください～

# 朝霞市オリンピック・パラリンピック バリアフリー関連補助金

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、市の福祉向上や産業振興に資する事業として、合理的配慮に係る物品購入等の費用及び店舗工事に係る費用の一部を補助する取組を行っています。

※詳細はホームページなどをご覧ください。

## ①物品購入に対する補助金

担当：障害福祉課

補助率 80/100

### ●制度を利用できる事業者

- ・飲食店、物販店、医療などの民間事業者  
(NPO 法人などの市民活動団体や地域活動団体を含む)

### ●補助の対象になるもの

#### 合理的配慮に係る コミュニケーション ツールの作成

- ・点字メニュー
- ・チラシの音訳
- ・コミュニケーションボード  
など



上限額

5万円

#### 合理的配慮に係る 物品の購入

- ・折りたたみ式スロープ
- ・筆談ボード  
など



上限額

10万円

## ②店舗工事にに対する補助金

担当：産業振興課

補助率 2/3

### ●制度を利用できる方

- ・市内で営業している店舗等

### ●補助の対象になるもの

(市内施工業者による工事)

#### 工事の施工 (10万円以上)

簡易スロープや手すり  
などの工事の施工に  
かかる費用



上限額

50万円

## ユニバーサルマナー検定とは

ユニバーサルマナー検定とは、日本ユニバーサルマナー協会が開催する検定で、高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々と接するための心持ちと行動を「ユニバーサルマナー」として、カリキュラムを受講して認定証を受けるというものです。

様々なシーンでユニバーサルマナーが必要とされている中で、日常ですぐに実践しやすいカリキュラムであることから、この検定を導入している企業・教育機関・自治体は全国で約300件以上あるようです。



出典：ユニバーサルマナー検定ホームページ

<http://www.universal-manners.jp/>

県内唯一のパラリンピック競技が行われることをきっかけに、市民の皆さんも受講してみてください。

